

S

広報さらべつ 1月号

Public Relations Sarabetsu 2018 vol. 664

Sarabetsu



更別村長・更別村議会議長 年頭のご挨拶



更別村長
西山 猛

新年あけましておめでとうございませう。明るく希望に満ちあふれた新年の幕開けを迎え、村民の皆様は謹んで新春のお慶びを申し上げます。私も「子供からお年寄りまで、笑顔と笑い声があふれ、住民一人ひとりが輝く更別村」を信条に、村づくり三原則として掲げる「住みたい村」「訪れたい村」を目指し、全力で取り組んでまいりました。また日頃より村政執行にあたり、村民の皆様にはご支援とご理解を賜り、心より厚くお礼と感謝を申し上げます。

さて、基幹産業の農業であります。生産者の皆様の高い営農技術により、粗生産額も史上最高との好調な見通しと伺い安堵しております。また、和牛のオリンピックと言われ

る全国和牛共進会に本村からも道代表として出場し素晴らしい成績を収められました。

一方、予断を許さない国際農業交渉においては、日欧EPAに関して丁寧な情報提供と農畜産物の再生産が引き続き可能となる処置を強く要請し、TPP11協定に関しては関連政策大綱に基づく実施を強く要請するものです。

国内経済では、都市に比べ景気の回復・上昇が未だ地方において感じられない現状であり、地方交付税や国庫補助金削減の動き、地方の基金の見直し等、先行き不透明な状況が続いています。

さて、「住みたい村」「訪れたい村」の実現では、子育て応援課を設置し子育ての窓口一元化を図り、子育て世帯の負担軽減策等も行ってまいりました。また、4月には「上更別認定こども園」が開園します。高齢者福祉においては、地域包括ケアシステムの確立に向けて関係機関との連携を進めており、障がい者福祉については4月に村内初の就労支援施設B型事業所の開設を予定しています。

「働ける村」の実現では、農業を志す若者や後継者が夢を持てるように、基盤整備事業等を実施するとともに、酪農家の戸数減少対策

として哺育・育成牛預託施設整備等の取り組みも行ってきました。商業では新たに2つの店舗が開店し、活性化が図られてきました。

また、「訪れたい村」の実現については、すももを活用した特産品開発等の取り組みを行うとともに、カントリパークのトレーラーハウス更新等により滞在人口増加にも取り組んでおります。

昨年4月に開校した十勝さらべつ熱中小学校では、全国から多くの方に参加いただき、各分野のエキスパートによる授業・交流を経て、先進産業や研究組織の参入、商品開発等の大きな化学変化が起きています。春には宿泊施設などが完成し旧開発跡地の整備が完了します。

新年度は第6期総合計画のスタートとなる年でもあります。計画のテーマとして掲げた「住みたい村」「訪れたい村」の実現に向け第一歩を踏み出し、30年後を見据えた村づくりに取り組んでまいります。

本年も、職員一丸となり住民が主人公の村づくりに奔走してまいります。村民の皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに、村民の皆様の方々のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



更別村議会議長
松橋 昌和

新年明けましておめでとうございませう。村民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より村議会の活動に対し、深いご理解と温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。年頭に当たり、議会を代表し新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は年頭からトランプ氏がアメリカ大統領に就任というニュースが大々的に報じられましたが、その就任直後にTPPの離脱を表明するなどその発言等が国際社会に大きく影響を与えています。また、世界各地でテロ等の惨事が起きる中、北朝鮮によるミサイル発射が繰り返され、本村においても2度にわたりJアラートから緊急情報を伝達することとなり、混沌とする世界

情勢に不安を感じるどころです。

さて、開村70周年を迎えたわが村を振り返りますと、基幹産業である農業では、一昨年の台風被害等の影響を懸念する中、営農を始めた途程中、強風の被害も危ぶまれましたが、農業者の皆様の営農技術、また日頃のご努力により史上最高に届く程の出来秋を迎えられたと伺っております。畜産においても、JAさらべつによる哺育・育成牛預託施設の完成や、村内生産和牛が全国和牛能力共進会に北海道代表として出場し優秀な成績を収められるなど、明るい話題の多い年になりました。しかし、その様な中であって十勝管内では8例目にあたるジャガイモシストセンチュウの発生が村内で確認され、今後の拡散防止に対策本部を中心とした取り組みが必要な状況ともなりました。基幹産業である農業を持続していくためにも今後のしっかりとした対応が望まれるところと見ます。

また、地方創生の新たな取り組みとして「もう一度7歳の目で世界を」をスローガンとした熱中小学校が開校され、前期106名、後期133名が「大人の社会塾」に参加され、人材育成の場をきっかけとしてサテライトオフィスの入

居など、新たな事業への取り組みが行われています。そして、熱中小学校の継続的な運営を図る事から宿泊施設等の整備も行われており、今後、この事業効果が大きい発揮されるよう期待するところと見ます。

さらに、市街地には新たにコンビニ二エンスストアや飲食店がオープンすると共に、来年4月にオープン予定の障がい者就労支援施設の建設も進められており、「住み続けられるまち」づくりがより一層進められることを願うものです。

また、昨年も更別の次代を担う小・中・高の児童生徒の皆さんが、文化・スポーツで活躍され、優秀な成績を収められております。この力を基に大きく成長していただき、これからの更別を支えていただきたいと思います。

本年は、昨年来より策定を進めております第6期更別村総合計画が新たに始まる年です。議会においても新しい総合計画に基づく新たな村づくりを視野に入れながら、活力あふれる更別村となるよう、議員が一丸となつて一層の努力を積み重ねてまいります。

新しい年が村民の皆様にとりまして、ご健勝で幸多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

後期高齢者医療制度のお知らせ

～高額介護合算療養費及び医療費通知について～

○高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。なお、手続きには保健福祉課窓口への申請が必要となります。

※後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。

※支給額が500円以下の場合には支給されません。

申請される方は、役場保健福祉課
国保医療係までお申し出ください。

自己負担限度額表

1年分の自己負担額の計算期間：8月1日～翌年7月31日

負担割合	区 分		自己負担額の合計の限度額
3割	現役並み所得者		67万円
1割	一 般		56万円
	住民税 非課税世帯	区分2(※1)	31万円
		区分1(※2)	19万円

※1：世帯全員が住民税非課税である方

※2：世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円(公的年金のみの場合、その受給額が80万円以下)、または高齢福祉年金を受給している方

○医療費通知の送付について

北海道後期高齢者医療広域連合では、被保険者のみなさんの医療費総額などについてお知らせする「医療費通知」を、対象期間に医療機関などを受診したすべての被保険者のみなさんへ送付します。

発送月は、9月と3月の年2回です。

【イメージ図】

受診年月	診療を受けた医療機関等	診療区分	日数	医療費総額	自己負担額
H29年1月	〇〇病院	医科外来	1	18,000	1,800
H29年2月	××薬局	調剤	1	10,000	1,000
合 計				28,000	2,800

※この通知はみなさんの受診状況についてお知らせするもので、請求書ではありません。

医療費通知の活用について

- ◆医療費の推移が一目でわかるため、自身の健康状態の把握や健康管理に活用できます。
- ◆健康診査など、みなさんの健康保持・増進に役立つ情報をお知らせします。
- ◆診療日数などに間違いがないか確認しましょう。

●問い合わせ

役場保健福祉課国保医療係 ☎53-3000
北海道後期高齢者医療広域連合 ☎011(290)5601

認知症になりにくい

まちづくり宣言

現在、村では認知症に関する正しい知識や情報の普及・啓発を行い、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に取り組んでいます。認知症の予防や早期発見・早期治療に力を入るため「認知症になりにくいまちづくり宣言」を行います。

宣言をする中で、住み慣れた地域で元気にいきいきと生活できるよう、村民や関係機関と一緒に、認知症になりにくいまちづくりを進めるとともに、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指したいと考えています。

宣言文及び取り組み内容

- 一 認知症についての正しい知識と最新の情報を提供します。
- 一 認知症の症状や対応方法などの紹介
- 一 認知症サポーター養成講座の開催
- 一 講演会や講話、認知症ケアパス配布などによる認知症予防の啓発
- 一 糖尿病や高血圧、喫煙などの生活習慣病予防に努め、村民が認知症になりにくい生活を送れるよう食事や運動習慣などの正しい知識を普及します。
- 一 年に1度の健診受診を勧奨
- 一 健診後や各種健康教育などにおける生活習慣の振り返りと見直し
- 一 高齢者の体力・認知力の測定を実施し、軽度認知障害の早期発見に努め、認知機能を改善するための効果的なプログラムを提供します。
- 一 体力、認知力の測定実施と早期発見、早期受診の勧奨
- 一 高齢者になっても心身ともに元気で、自立した生活を送れるよう応援します。
- 一 高齢者の地域参加・活動の促進、閉じこもり予防
- 一 運動教室や各種講座などの呼びかけ
- 一 認知症になっても、安心して生活できるまちづくりを目指します。
- 一 住民(村民)と関係機関が協力し、村全体で認知症の方を見守るまちづくりの推進
- 一 介護についての相談や情報交換ができる場の提供
- 一 認知症になっても地域と繋がり、社会参加ができる環境づくり

平成三十年一月一日

北海道更別村長

西山 猛



約4万球のイルミネーションが冬の更別を彩る ときめきイルミネーション

12月1日、村観光協会と南十勝夢街道プロジェクト推進協議会の共催で、ときめきイルミネーションの点灯式が農村公園で行われました。

例年は白色と青色中心の電球で飾りつけていましたが、今年の一部の電球を更新し、オレンジ色などの暖色系の電球も加わり、約4万球の電球が農村公園の木々に飾り付けられました。今年は木々のイルミネーションだけではなく、電球をくりつけたアーチも設置。会場に集まったみなさんのカウントダウンで午後5時を迎えると、イルミネーションが一斉に点灯し、大きな歓声が上がりました。

ほかに会場では、温かい豚汁やココアの無料配布、マシユマロ焼き体験などが温まるイベントも行われ、イルミネーションに負けないくらい子どもたちの笑顔も輝いていました。

このイルミネーションは2月14日(水)まで毎日17時00分から21時30分まで、また本通り商店街の各店舗も同様にイルミネーションが点灯され、冬の更別を鮮やかに彩ります。



喫煙とニコチン依存症について

喫煙はみなさんをご存知のとおり、ご自身の健康を損ねるだけでなく、周りの人たちの健康を損ねます。

村では子どもを授かったことを機に禁煙をする方もいますが、喫煙する方も多く全道・同規模町村に比べて喫煙率は高い状況です。全国では、たばこ税による収入は2兆1500億円、喫煙が影響とされる心筋梗塞や脳梗塞などの疾病の医療費などの支出は4兆3264億円です。村では男性は慢性閉塞性肺疾患、女性は肺がんや脳血管疾患が多いというデータもあります。

最近では喫煙者の方から、周りの人に迷惑にならないように、家の中で吸いたいからと「IQOS=アイコス」(電子たばこ)にかえた、ということをお耳にします。電子たばこは、タールという有害物質が紙たばこに比べ90%以上カットされていますが、依存症をひきおこすニコチンは紙たばこと同じ量が含まれています。また、煙がでないことを売りにしていますが、“アイコス”から出る水蒸気は、独特の臭いもあり有害物質も10%含まれていることから、副流煙と同様に周りへ与える健康被害はゼロではありません。

換気扇のそばなど、半径7m以内でたばこを吸っても、煙が漂い受動喫煙となります。また、屋外で喫煙した場合も喫煙者の息や衣服からたばこの臭いがして、それを吸うことで受動喫煙となります。息や衣服から有害物質が完全になくなるまでには、最低8時間かかると言われています。

ニコチン依存症チェック

- 自分が吸うつもりよりも、多くタバコを吸ってしまう
- 禁煙などを試みたが失敗した
- 禁煙時などにタバコが欲しくてたまらなくなったことがある
- 禁煙時などに以下の症状があった
 - ・イライラ
 - ・胃のむかつき
 - ・集中しにくい
 - ・頭痛
 - ・眠気
 - ・落ち着かない
 - ・手の震え
 - ・食欲または体重増加
 - ・神経質
 - ・脈が速い
 - ・ゆううつ
- 上の症状を消すためにタバコを吸った
- 重い病気にかかったときに、タバコは良くないとわかっているのに吸った
- タバコが原因で自身に健康問題が起きてるとわかっていても吸った
- タバコのために自分に精神的問題が起きてるとわかっていても吸った
- 自分はタバコに依存していると感じる
- タバコが吸えない仕事や付き合いを避けたことがある

5つ以上の方はニコチン依存症の可能性があります

禁煙は、“きっぱりできる方”となかなか禁煙ができない方に分かれます。意志が弱いということではありません。

禁煙チャレンジをしても難しいという方は、国保診療所の禁煙外来もありますので、ぜひご利用ください。

●問い合わせ 役場保健福祉課保健推進係 ☎53-3000

第2回行政区長会議を開催

12月5日、今年度2回目の行政区長会議が役場3階大会議室で開催され、平成30年度の主な事業予定などの案件について西山村長や担当課長から説明がありました。話し合われた議題のうち主なものを紹介します。

平成30年度の主な事業予定

平成30年度の主な事業予定では、「道路改良舗装事業」、「カントリーパーク改修事業」、「全国瞬時警報システム更新事業」、「地方創生交付金事業」、「結婚支援事業」などの64事業を予定しています。

第6期更別村総合計画の策定

平成30年度から10年間で取り組む「第6期更別村総合計画」を作成しました。



行政区懇談会を開催します

毎年1月に開催している行政区懇談会を今年度も開催します。

1月中旬から下旬までの間で開催を希望する農村地区の行政区は、1月12日までに企画政策課へご連絡ください。また、行政区懇談会開始前または終了後に診療所から1時間程度の出前講座を予定していますので、行政区懇談会の開催を希望される行政区は出前講座開催の有無を合わせてご報告ください。市街地においても行政区懇談会の開催を予定しています。日時など詳しくは防災無線でお知らせしますの、ぜひご参加ください。

ご厚意に感謝します

神奈川県横浜市の上田豊美さんから絵画1点が寄付されました。

上田さんには、開村70周年記念事業として、総合文化祭作品展示会への出展や更別中央中学校での出前授業なども行っていただきました。あわせてお礼申し上げます。

ありがとうございました。



各課・施設の電話/メールアドレス → 産 業 課 ☎52-2115 ☐sangyou@sarabetsu.jp
→ 住 民 生 活 課 ☎52-2112 ☐jyumin@sarabetsu.jp

小型除雪車などを更新しました

平成13年から夏季の草刈り作業、冬季の歩道除雪など1年を通して活躍していた小型除雪車が老朽化のため12月13日に新型車両へ更新しました。



また、より効率的な除雪体制の維持と除雪委託業者の負担軽減のため、北海道払い下げの除雪専用トラックを1台増車しました。

計画的な除雪機械の更新と増車により、今後も村民のみなさんの安全と安心を守る除排雪を推進していきます。



●問い合わせ 役場建設水道課道路維持車両係 ☎52-5200

国保広域化について
連載でお知らせします

【第4回】国保広域化ってなに？

広域化の目的

- 市町村で大きな差がある保険税を平準化し、全道で公平な負担に近づけていく。
- 市町村が抱える医療費増加リスクを、全道で分散させていく。

現 在

- ◆ 容器の高さ(所得)が同じでも、水位(保険税率)が大きく異なる。
- ◆ 容器が小さい(ピーカー試験管=市町村の規模)なので、水が少しでも増えると、水位(保険税率)が急激に上昇する。

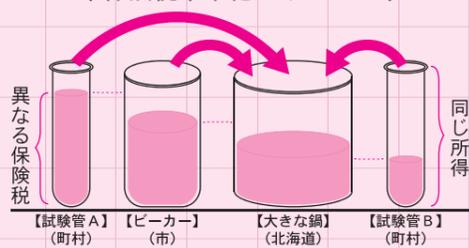
保険税
平準化

リスクの
分散

平成30年度～

- ◆ 大きな鍋(北海道)に移すと、水位は同じ(同じ所得なら保険税は同じ水準)。
- ◆ 容器が大きいのので水が多少増えても、水位(保険税率)がわずかしこ上昇しない。

◆保険税平準化のイメージ◆



●問い合わせ 役場保健福祉課国保医療係 ☎53-3000

各課・施設の電話/メールアドレス → 建設水道課 ☎52-5200 ☐kensetu@sarabetsu.jp
→ 出 納 課 ☎52-2113 ☐suitou@sarabetsu.jp

お知らせ

110番の適切な利用を

110番は、事件事故が発生した場合に警察へ緊急通報するための電話です。耳が不自由な方のための「メール110番」もあります。携帯電話のメールで北海道警察のホームページに接続し通報することができます。

また、急を要しない相談や照会などの場合は、各種警察相談電話「#9110」、性犯罪被害相談電話「#8103」、または最寄りの警察署、交番へお問い合わせください。

●問い合わせ
帯広警察署 ☎25-0110

在宅医療推進フォーラム inとちを主催します

- 日時
平成30年1月20日(土)
13時00分～16時00分
- 会場
帯広市西5条南11丁目48番地2
帯広市民文化ホール 小ホール
- 内容
◆第1部 講演(90分間)
◆第2部 シンポジウム(90分間)
- その他
参加をご希望の方は、当日直接会場にお越しいただくか、更別村役場前を12時00分に出発する送迎バスに乗りしてください。

●問い合わせ
役場保健福祉課包括支援係 ☎53-3000

年末年始に海外へ渡航されるみなさんへ

国外にある大半の在外公館(大使館、総領事館)は12月29日(金)から1月3日(水)まで閉館となります。

このため、この期間の直前または期間中のパスポートの紛失(焼失)及び申

請手続きは原則として1月4日(木)以降となります。

もしも、この期間にパスポートを紛失したり盗難にあった場合は予定を変更し、その日に数日間滞在しなければならなくなる可能性もありますので、旅行中のパスポートの管理については特に注意してください。

●問い合わせ
役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112

募集

国有林モニターを募集します

北海道森林管理局では、国有林モニターを募集しています。

- 応募資格
北海道在住の20歳以上の方
- 応募期限
平成30年2月23日(金)必着
- 依頼期間
平成30年4月～平成32年3月
- 依頼内容
国有林モニター会議や現地見学会への出席、アンケート調査など
- 応募・問い合わせ
北海道森林管理局企画課 ☎011(622)5228

国民年金

20歳になったら国民年金

●国民年金とは
国民年金は、年老いたときやいざというときの生活を、働いている世代みんなで支えようという考えでつくられた公的年金制度です。公的年金制度には老齢年金のほか、障害・死亡に対する保障もあるので、若いうちに事故などにあっても、これらの保障が受けられます。

●加入対象者
日本国内に居住している20歳以上60歳未満のすべての方に国民年金への加入が法律で義務付けられています。

●保険料
国民年金第1号被保険者および任意加入被保険者の1か月当たりの保険料は16,490円です(平成29年度)。

●加入手続きとその流れ
①「国民年金被保険者資格取得届書」を提出してください

20歳の誕生月の前月または当月上旬に日本年金機構から送られる「国民年金被保険者資格取得届書」に必要事項を明記し、役場窓口もしくは帯広年金事務所に提出してください。経済的に保険料の納付が難しいときは、納付猶予制度や学生納付特例制度の申請書を同時に提出することもできますのでぜひご利用ください。

②「年金手帳」が届きます
保険料納付の確認や将来年金を受け取る際に必要になるので、大切に保管してください(厚生年金保険の被保険者だった方、共済組合に加入していた方、障害・遺族年金を受給している(していた)方には送られません)。

③「国民年金保険料納付書」が届きます
納付書で保険料を納めてください。保険料は金融機関のほか、コンビニエンスストアでの納付、電子納付もできます。また、口座振替やクレジット納付も可能です。

●問い合わせ
帯広年金事務所 ☎25-8113
役場住民生活課戸籍窓口係 ☎52-2112

税

固定資産税第4期納期限は1月31日(水)です

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

●問い合わせ
役場住民生活課資産税係 ☎52-2112



更別郵便局、上更別郵便局、帯広郵便局の3局と「包括的連携に関する協定」を取り交わしました。
この協定は今年の4月7日に締結していた「情報提供に関する協定」に安心・安全な暮らしの実現や地域経済活性化、子どもの育成に関する内容を追加した新たなものです。
協定締結について、更別郵便局の神成哲也局長は「郵便局の人的・物的資源を有効活用し、情報を村と共有しながら地域に根ざした活動を行っていきたい」と述べられました。西山村長は「地域のことを隅々までわかっているのが郵便局。これからも安心・安全なまちづくりにご協力いただけたら」と話しました。

11/27

安心・安全な村を目指して



さらべつミュージックサービス(矢島俊郎会長)主催の「さらべつ音楽祭」が社会福祉センターで開催され、村内外からおよそ160名が会場に足を運びました。
音楽祭は村の文化振興等助成事業を活用し実施。今年は鹿追町を拠点に活動するフォークバンド「Ms.マイズ」とシンガーソングライター「みのや雅彦」さんが登場。Ms.は「世界でただ一人の君のため」や会場のみなさんと一緒に「がんばれ。」などを歌いました。みのやさんはギターを弾きながら「羽幌から」などの曲を披露。美しい歌声と軽快なトークに会場したみなさんは耳を傾けていました。

12/8 上更別小学校のリンクが完成!

上更別小学校で、グラウンドに作られた屋外リンクが完成しリンク開きが行われました。
今年は冷え込む日が多かったためか、昨年より約1週間早くリンクが完成。リンク開きに先立ちPTA会長の有金孝志さんが「ケガには気を付けて、頑張って練習してください」と挨拶。児童を代表して児童会長の加藤拓磨さんが「夜遅くまでリンクを作っていたいただきありがとうございます。リンクを大切に使う練習します」とお礼を述べました。
この日は前日から朝まで降り続いた雪の影響が心配されたものの、無事リンク開きが行われ、児童たちの楽しそうな声が聞こえてきました。

11/28 さらべつ音楽祭を開催



12/14

中学生が一般質問を傍聴



更別中央中学校の3年生20名が社会科公民の授業として、村議会一般質問の傍聴に訪れました。
議会の雰囲気や自分の暮らしについてどのような話し合いがされているかを知りたいと、積極的に授業では初試みとして実施され、約30分間の傍聴でしたが、目の前で行われている答弁に生徒たちは真剣な眼差しを向けていました。
議会一般質問の答弁を初めて傍聴したという堀井花夏さんは「立派な議場に驚いた。子どもたちに関する質問がされていて、自分も幼稚園に通っていたので教育の狙いなどを知ることができた」と感想を話してくれました。

更別農業高校生 海外研修でハワイを訪問

平成8年から行われている更別農業高校海外研修事業が今年も実施され、農業科3年の高田悟さん、福原諒真さん、畠山智隼さんの3名が11月12日から4泊6日の日程でハワイ・オアフ島へ旅立ちました。

現地では、パールハーバーやアリゾナ記念館の見学、狭い土地ならではの縦式栽培を行っている農園の視察、現地の大学生との交流を兼ねて島内を巡るなど盛りだくさんの内容。また、4泊のうち、3泊をホームステイで過ごすなど、英会話の体験もできた研修となりました。

11月24日に役場で行われた報告会と12月6日に更別農業高校で行われた校内実績発表大会のなかで、3人は「日本とは違った文化を体験することができ、とても勉強になった。農業に関しても日本とは違った視点で行われているものが多く、自分の視野を広げることができた。また、パールハーバーやアリゾナ記念館で戦争のことを詳しく知り、戦争に対しての考えの違いや悲惨さを感じることができた」と普段とは違った環境に刺激を受け良い経験になったようです。



学校生活について
生活科学科1年 福江 来惟
私は野球部員です。高校に入ってから野球を始めたので、ゼ口からのスタートでした。ボールの取り方もバットの振り方もわかりませんでした。しかし、1か月、2か月と経つにつれてヒットが打てたり、アウトを取れるようになりました。
この学校の野球部に入って、私自身が成長することができました。まだまだ課題はたくさんありますが、日々楽しく頑張っています。これからも上達していくように頑張ります。また、学校生活も正しく過ごしていきます。



農業科1年 鳥羽 耀己
私は更別農業高校に入学すると同時に寮に入りました。親元を離れて生活するのが最初はとても不安でした。しかし、1か月ほどでその不安もなくなり、寮の生活にも慣れました。今では朝から夜寝るときまで集団生活をするのが楽しいです。
同級生と学校生活や寮生活のことを話したり、授業でわからないところを先輩に聞いたりして楽しく過ごしています。テスト前は1年生全員で食堂に集合してわからないところを教え合うこともできました。これからの寮生活も有意義に過ごしていきたいです。



更別農業高校 ニュース

農村環境改善センター 今月の図書室 おすすめ本

風と共にゆとりぬ
朝井 リョウ/著
ひたすら楽しいだけの読書体験をあなたに。
一冊で100回笑える腹筋崩壊エッセイ!



学校図書館の司書が選ぶ 小中高生におすすめの本300
東京 学校図書館スタンダラー実行委員会/編
本がたくさんありすぎて「何を読んだらいいのかかわからない」という人へのブックガイド。



ホームセンターマニアがつくる おしゃれな雑貨とインテリア
主婦と生活社/編
ホームセンターを愛する15人がお店の隅々まで回って見つけた素材を使って素敵なインテリアを詰め込んだ一冊。



ヘルプマークを配布します!

ヘルプマークとは?
義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、または妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分からない方がいます。そうした方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助が得やすくなるよう作成したマークです。
また、多様な主体による活用を図り、援助が必要な方が日常的にさまざまな援助が得られる社会づくりを推進するものです。



どのような方が対象?
義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方がカバンに付けるなど見えやすい場所に付けて使用します。
どこでもらえるの?
申請によりお渡ししますので保健福祉課まで問い合せください。
●問い合わせ 役場保健福祉課福祉係 ☎53-3000

冬休み夢ん子シアター

1/10 上更別福祉館 集会室 入場無料
1/12 改善センター 視聴覚室 無料

幼児向け 13:30~
哀しくもやさしい、あたたかい物語
やさしいライオン

小学生向け 14:05~
猫と人間、それぞれの愛と友情の物語
ルドルフとイッパイアッテナ

●問い合わせ 教育委員会事務局社会教育係 ☎52-3171

平成30年度 新入学児童・生徒の保護者のみなさんへ

平成30年4月に村の小学校へ新たに入学される児童(平成23年4月2日から平成24年4月1日生まれ)と中学校へ新たに入学される生徒(平成17年4月2日から平成18年4月1日生まれ)のお子様がいるご家庭に対し、1月下旬に入学通知書を送付します。

通知書が届かない場合や内容に誤りがある場合は教育委員会までご連絡ください。

●問い合わせ 教育委員会事務局学校教育係 ☎52-3171

ぽ・こ・り

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年もこれまでとあまり変わり映えない広報となってしまいましたね…。来年度は新しいことにどんどん挑戦していければと考えております。住民のみなさんから「こんな情報がほしい!」「こんなコーナーがあれば楽しく読めそう!」などの声をいただくとありがたいです!

今年もさまざまな場面で世話になるかと思いますが、どうか温かい目で見守っていただくと幸いです。

(住民生活課広報統計係 三塚)

人のうごき

■人口

3,234人(+1人)【内外国人5人】
男1,599人(+1人)

【内外国人2人】

女1,635人(±0人)

【内外国人3人】

■世帯数

1,330世帯(-1)

【内外国人1世帯】

※12月1日現在。()内は前月比。

地域安全ニュース

■地域安全運動のお知らせ

～冬の暴力追放運動展開中～

『冬の暴力追放運動』は、暴力団の根絶によって社会と経済活動の健全な発展と青少年の健全な育成を図り、安全で安心な北海道を実現するため、関係機関と連携しながら年末年始の繁忙期と学校の冬休み期間に合わせて実施しています。実施期間は1月14日までです。



ウラ表紙の風景

上更別幼稚園で餅つき会を開催

12月7日、上更別幼稚園で全園児と保護者で餅つき会が行われました。

蒸したもち米が石臼の中に入れると、すぐに餅つき開始。自分よりも大きな杵を持った園児と

保護者のみなさんが協力して力いっぱい餅をつくると柔らかいお餅ができてあがり。

つきたてのお餅は、園児たちの手によってすぐに小さく丸められました。

広報さらべつ 1月号

Public Relations Sarabetsu 2018 vol. 664

平成30年1月1日発行 (vol. 664)

更別村役場 住民生活課

〒089-1595

北海道河西郡更別村字更別

南1線93番地

☎0155(52)2111(代表)

☎0155(52)2812

ホームページ <http://www.sarabetsu.jp/>

Eメール(代表) jyuumin@sarabetsu.jp



12月10日、更別幼稚園で園児と保護者、地域のみなさんによる餅つき会が開催されました。
園児たちは、お父さんやお母さんと協力して、力いっぱい餅をつきました。普段は体験する機会が少ない作業に、園児たちは楽しそうな様子でした。

表紙の風景